

## ローガー湖周辺の森の水源涵養機能の回復を目指して 7/8(土)第5回「ミャンマー ヤンゴン植樹」を実施します 1,200名の皆さまとともに13,000本を植樹

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役）は7月8日（土）、ミャンマー連邦共和国（以下 ミャンマー）ヤンゴン市郊外のローガー湖周辺において、5回目となる「ミャンマー ヤンゴン植樹」を実施します。

当財団は、2013年にヤンゴン市郊外のフージー湖周辺での3年間の植樹活動に取り組み、4年目となる昨年からは場所をローガー湖周辺に移し、新たに3年計画で植樹を継続しています。

ローガー湖は、ヤンゴン市民や近隣住民の生活用水の水源であり、森林をより豊かなものにする事で、水源涵養機能※をさらに高め、今後も持続的な利用が可能となるよう、このたびの植樹を実施します。本年は両国のボランティア1,200名の皆さまとともに、地域に自生する13,000本の苗木を植樹します。これにより、同国における累計植樹本数は、47,000本となります。

当財団はこれからも、いのちあふれる美しい自然を未来の子どもたちに引き継ぐため、植樹活動をはじめとする環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

※水源涵養機能：森林の土壌が降水を貯留し、河川や湖沼に流れ込む水量を平準化して洪水や渇水を防ぐ機能のこと

### 記

日 時：2017年7月8日（土）9：00～10：30  
場 所：ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市郊外ローガー湖周辺  
参加人数：約1,200名  
（ミャンマーのボランティア約650名、  
日本のボランティア約550名）

植樹本数：13,000本

樹 種：6種（マホガニー、オリーブ、カイエー、チーク、モンキーポッド、  
ゴールドデンシャワー）

主 催：ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市開発委員会、公益財団法人イオン環境財団

協 力：イオンオレンジ株式会社、イオンマイクロファイナンスミャンマー株式会社、  
イオンモール株式会社

主な出席者：ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン管区首相

（予定）ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン市市長

在ミャンマー日本国大使館 公使

公益財団法人イオン環境財団 評議員

（イオン株式会社 代表執行役社長 グループCEO）



2016年の植樹の様子  
（10,000本を植樹）

ピョー・ミン・テイン 様

マウン・マウン・ソー 様

丸山 市郎 様

岡田 元也

以上

## ご参考

### 【ミャンマーにおけるイオンの環境・社会貢献活動について】

#### ■ 2013年～2015年「ミャンマー ヤンゴン植樹」フージー湖周辺で実施

公益財団法人イオン環境財団は、ヤンゴン市郊外にあるフージー湖の水源涵養機能を取り戻すため、湖周辺の土地に、ミャンマーと日本のボランティアのべ2,700名の皆さまと累計24,000本を植樹しました。



2013年



2014年



2015年

#### ■ ミャンマー中南部での大型サイクロン被害への緊急支援金、支援物資寄付

2008年、公益財団法人イオンワンパーセントクラブ（以下、イオン1%クラブ）は、ミャンマーでの大型サイクロン被害への緊急支援として、在日本ミャンマー連邦共和国大使館へ緊急災害復興支援金1,000万円を、さらに被災地へ蚊帳などの支援物資をお届けしました。

#### ■ 学校建設支援事業

イオン1%クラブは2012年より、ミャンマーにおける学校建設を支援しています。お客さまからの募金に、イオン1%クラブからの拠出を合わせ、これまで計42校の建設を支援しました。



2016年 新校舎と交流会の様子

#### ■ ティーンエイジ・アンバサダー（高校生交流）事業

イオン1%クラブは、次代を担う若者を支援すべく、1990年より高校生が互いの国を訪問し相互交流することで価値観の多様性を学ぶ「ティーンエイジ・アンバサダー事業」を行っています。2013年にミャンマーの高校生20名が参加し、日本の高校生との国際交流を行いました。2017年も2月6日（月）から13日（月）までの8日間、日本とミャンマーの高校生が親交を深めました。

#### ■ 「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」

イオン1%クラブは2010年より、ミャンマー、カンボジア、ラオスの子どもたちへ安全な水を届けるために、子どもたちが暮らす町や村に給水施設を設置すべく支援を行っています。これまでイオングループの店舗・事業所約7,000カ所でお寄せいただいた募金とイオン1%クラブからの同額拠出金、さらにイオンのブランド「トップバリュ」のミネラルウォーターの購入を通じた寄付金額（1本販売につき5円）を合わせた約3億350万円を、公益財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈しました。ミャンマーにおいては、2017年3月時点で約2万9,000人の人々が安全な水を使えるようになりました。

#### ■ イオンの奨学金「イオン スカラシップ」

イオン1%クラブは給付型奨学金制度「イオン スカラシップ」を通じ、アジアの学生および日本で学ぶアジアからの私費留学生の夢の実現を支援しています。2014年度より、ヤンゴン経済大学とヤンゴン外国語大学への支援を開始し、これまでのべ238名の同国学生に支援を行いました。

#### ■ 2015年 中北部での洪水被害への緊急支援金を寄付

イオン1%クラブは、豪雨による洪水被害を受けた方々への支援として、ミャンマー連邦共和国国内災害対策本部へ20,000米ドルを寄付。食料、日用品、医薬品の支援に役立てていただきました。